

梅田大使挨拶（於：沿岸地域における投資・観光セミナー）

2019年2月16日(土)9:20-9:30（日本語/越語スクリーン）

●グエン・スアン・フック首相

党、国会、政府、19の沿岸地域省の指導者の皆様

●ご列席の皆様

●新年明けましておめでとうございます。

本日、沿岸地域投資・観光セミナーがかくも盛大に開催されることにお祝いを申し上げますとともに、セミナー開催に御尽力いただいた全ての関係者の皆様にお礼を申し上げます。

日本政府を代表して、一言、ご挨拶申し上げます。

●昨年、日本とベトナムは外交関係樹立45周年を迎え、240以上の文化事業が実施されました。

本日ご参加頂いている沿岸地域においても、様々な形で45周年を祝っていただきました。例えば、フエ・フェスティバル（4月）、ダナン越日文化交流フェスティバル（7月）、第16回ホイアン日本祭り（クアンナムにおける日本の日々（8月）、（ゲアン省日越外交友好協会設立10周年記念行事（9月））などです。関係者の皆様に、心から御礼を申し上げます。

●今年、日本では、4月30日に今上陛下が退位され、5月1日に皇太子殿下が即位されます。2年前、天皇皇后両陛下は初めてベトナムを訪問され、ベトナム国民に温かく歓迎いただきました。両陛下にとって、ベトナムは思い出深い最後の外国訪問国となりました。

●フエにおいて、両陛下は、王宮、ファンボイチャウ記念館を視察されたことに加え、ニャーニャックを鑑賞し、フック首相御夫妻との昼食会を楽しまれました。フエ出発時、ホテルから空港に向かう沿道にフエ市民が切れ間なく立ち、日越両国の国旗を振って見送っていただいた光景は、壮観でした。フエ市の皆様の温かいお気持ちに改めて感謝を申し上げます。

●現在の日越関係をみますと、安倍総理、フック首相をはじめとする指導者間には「厚い相互信頼関係」が築かれており、国民レベルでは「強い親近感」が存在しています。また、両国は多くの戦略的利益を共有し、あらゆる分野で関係は着実に強化されています。

●ベトナムは、昨年、直近10年で最高の7.08%という経済成長率を達成し、対越外国直接投資（認可ベース）も355億ドルと一昨年に続き、非常に高いレベルが維持されました。フック首相をはじめとするリーダーの方々の昼夜をいとわない御尽力と国民の働きの成果であり、心から敬意を申し上げます。

●日本の昨年の対越直接投資は、約 86 億ドルでした。国別投資額では、一昨年、昨年と二年続けて 1 位でした。今年も引き続き、日本企業のベトナムへの関心は非常に高いものがあります。日越両国による CPTPP の発効も投資・貿易面で好影響が期待されます。

●ベトナムは、先進国入りに向け、大きく飛躍する歴史的チャンスを迎えています。日本は、ベトナムがこの歴史的チャンスを活かされることを心から願っています。日本は、ベトナムの更なる発展が、東アジア地域全体の安定と繁栄にとって極めて重要と認識しています。

●次に、ベトナム中部と日本との関係に触れます。ダナンの日本商会議所に加盟している日本企業数は、127 社です。この 5 年間に倍増していますが、ベトナムには、3,100 社以上の日本企業が進出しており、ベトナム中部地方への日本企業の投資は、まだまだ増加の余地があると考えられます。

●また、中部地域は、日本の延べ 16 地方自治体と協力関係を結ばれています。その内、昨年、締結されたものが 6 件、ほとんどの協力関係が、最近 5-6 年間に確立されたものです。

そして、来週 23 日には、ダナン市の代表団が訪日し、ダナン市と堺市（大阪府）が友好都市提携を結ぶ予定です。これらのことは、ベトナム中部地方への日本の関心が、近年とみに高まっている証拠でもあります。

なお、現在日本の国会で審議中の来年度予算案に「ダナン領事事務所新設」が含まれています。国会の了解を得ることが出来れば、来年1月に実現します。

●ベトナム中部沿岸地域は、「戦略的観点」からもとても重要です。日本は、「自由で開かれたインド太平洋構想」を提唱しています。その中で、南シナ海は重要な位置を占めています。日越両国は、南シナ海の自由航行、「法の支配」等の基本的考え方を共有しています。また、インドシナ半島の連結性強化の観点から、ダナンを起点とする「東西経済回廊」を重視しています。

更に、日本の海上保安庁や海上自衛隊の船が毎年ダナンに寄港しベトナム海軍及び海上警察との連携を深めています。

●両国の観光促進も重要なテーマです。日越両国間の人の往来は、昨年初めて120万人を突破しました（訪越日本人：82.7万人、訪日ベトナム人：38.9万人）。ここ中部沿岸地域は今後の観光交流の拡大につながる重要なマーケットです。ベトナム人の訪日旅行の促進に向けては、ベトナム中央及び地方政府、上場企業の幹部職員及び家族等に対するビザ手続き緩和を近々実施します。また、日本人の訪越旅行の促進に向けて5名のJICAボランティアがダナン、ホイアン、ゲアン、フエにおいて観光促進や文化財保護のために日々活動しております。

両国間で目標としている日越両国間相互交流150万人の早期達成に向け、引き続き、関係者の皆様のご協力をお願いいたします。

※参考：観光関連ボランティア派遣状況

- ・ 青年海外協力隊 4 名（観光（ゲアン省観光局派遣）、観光（トゥアティエンフエ省観光局派遣）、建築（ホイアン文化遺産保存センター）、文化財保護（ホイアン文化遺産保存センター））

シニアボランティア 1 名（観光（ダナン市観光局派遣））

●ベトナムのサッカーについて一言述べます。ベトナムサッカーは、経済と同様、「飛躍の時」を迎えています。私は、先週、田嶋日本サッカー協会会長と東京で話す機会がありました。また、今週、森保（モリヤス）日本代表チーム監督とハノイの公邸で昼食をとともにしました。田嶋会長、森保監督の一致した意見は、「ベトナムは強い、若い選手が多く、東京オリンピックに出場できる可能性は非常に高い。パク・ハンセオ監督も非常に優秀」ということです。来年、東京オリンピックで皆さんと一緒にベトナムチームを応援できることを楽しみにしています。

●最後に、皆様の御健勝、中部沿岸地方の更なる発展、日越関係の益々の深化を祈念して、私の挨拶とさせていただきます。

ご静聴ありがとうございました。（了）